

アンゴラ経済概要（4月）

本月報は当館が報道等公開情報¹より取りまとめたものです

石油・LNG

- ・ ソナンゴル社は、次2年間の間に54の鉱区の採掘権を入札にかける予定（4/28 JA）。
- ・ 石油大臣は、アンゴラの石油確認埋蔵量が126億6700万バレルと発表（4/13 AP）。
- ・ 5月の石油輸出量は、日量183万バレルまで達する見込み（4/2 Ex）。
- ・ ナミビアは、アンゴラの石油を同国へ輸入することに対し、関心を表明（4/21 JA）。
- ・ コンゴ（民）石油大臣は、アンゴラとコンゴ（民）の協同鉱区である第14c区における石油採掘事業は、次36ヶ月の内に開始予定と発表（4/23 BB）。
- ・ ポルトガル系石油企業Galp Energiaのブラジルにおける子会社であるPetrogal社、Partex Brasil社とSonangol Guanambi社は、入札においてブラジルの石油鉱区開発権を獲得したと公式に発表（4/18 Ah）。
- ・ アンゴラLNGによる、ガス初輸出は、引き続き予定日が定められないまま、実施中の検査次第である旨報道（4/27 sol）。

鉱物資源

- ・ クワンザ・ノルテ州のカサラ・キトゥンゴ（Kassala Kitungo）プロジェクトでは、鉄とマンガンの生産を2015年より開始。年間22万トンの鉄を生産する見込み（4/5 EX）。
- ・ ロシアのアルロサ（alrosa）社は、アンゴラおよびボツワナのダイヤモンド資源を開発するため、新たな連携を表明。アンゴラでは6月までに、ENDIAMA社とパートナーシップを提携する予定（4/11 JA）。
- ・ Secil Lobito社は、180億クワンザを投資し、1つ以上のセメント会社を建設する予定。120万トンのセメントが生産される見込み（4/25 Ah）。
- ・ アンゴラ地質鉱山大臣は、ブラジルがアンゴラ全土での地球物理学・化学研究に対し支援する用意がある旨発表（4/12 Ah）。

国際機関

- ・ IMFは、公共事業への投資促進、民間消費の改善、石油生産を背景として、本年のアンゴラ経済成長予測を5.5%から6.2%まで向上（4/26 sol）。
- ・ EBRD（欧州復興開発銀行）は、アンゴラの経済成長を支援する用意がある旨発表（4/20 JA）。

金融・銀行

- ・ 証券取引市場設立に向け、閣議にて右組織構造に関連する法令等が承認（4/25 JA）。
- ・ 証券取引所が設立された場合、開設から18ヶ月以内にGDPの約10%の価値を有する、アフリカで6番目に巨大な証券取引所となる予定（4/12 BB）。

¹ 参考:JA(ジヨルナル・デ・アンゴラ), Ex(エスパンサン), BB(ブルームバーグ), JE(ジヨルナル・デ・エコノミア), オ・パイス(OP), アンゴップ(AP), SA(セマナリオ・エコノミコ), Ah(アンゴラハブ), ラジオ・ナショナル・デ・アンゴラ(RNA)

- ・ BNAは、4月の金融政策委員会において、市中銀行における金利の参考値となるBNA基礎利率 (Taxa BNA) を、年10%のままで維持。インフレ率は先月の9%から9.1%に少々上昇 (4/29 BB)。
- ・ ソル銀行は国際的な事業展開を進めており、2013年にナミビアのWindhoek およびOshakaty 市に支店を開設予定 (4/19 Ah)。
- ・ アンゴラ投資銀行 (BAI) の2012年の利益は、1億8000万ドルで、2011年より15%下落。債権全体のうち、満期が来たものの割合は4.9%から7.2%まで上昇 (4/19 Ah)。
- ・ 国際送金サービス会社であるマネーグラム (MoneyGram) 社は、アンゴラにおいて携帯電話を使った送金サービスを開始する意向を表明 (4/22 JA)。

二国間関係

- ・ フランス：この10年間にフランスは、アンゴラの保健セクターに対し約2660万ドルを投資 (4/5 EX)。現在アンゴラへの進出に関心を有する約30の企業は、その困難さに直面。特に資金調達、税関手続の遅さ、インフラと人材の不足が困難としている (4/17 JA)。
- ・ 中国：2月と3月の両国間交易量は10.14%増加し、57億ドルまで到達 (4/19 JA)。2015年までに、11000戸の住居を建設予定。その内3000戸はCITIC社がウイラ州キレンバ市 (Quilemba) 市に建設予定 (4/2 Ah)。
- ・ ポルトガル：飲料メーカーであるSumol+Compal社は、2013年中に工場を建設し、アンゴラでの販売を強化する意向 (4/8 Ah)。2012年のポルトガルーアンゴラ間の入国査証発給数は、約10万件。そのうち45000件がルアンダ・ベンゲラのポルトガル領事館、残りがポルトガルのアンゴラ領事館が発給 (4/25 sol)。TAPはポルトガルーアンゴラ間の運航便数を、6月1日より週7便から10便まで増加 (4/28 sol)。
- ・ スペイン：両国の企業関係の育成を目的とした、アンゴラ・スペイン経済フォーラムがマドリードにて開催 (4/25 JA)。スペイン政府は、アンゴラの銀行がスペインで事業を展開することに関心、ソナンゴル社をはじめアンゴラ企業が証券取引所等へ参入することを期待 (4/27 JA)。民間ミッションがアンゴラを訪問。スペインの投資家に対し、アンゴラは2日以内に査証を発給する旨発表 (4/30 JA)。
- ・ サントメ・プリンシペ：両国は観光分野をはじめ、様々なセクターでの経済協力の拡大を目的として、15日以内の滞在に対する査証を廃止 (4/16 JE)。
- ・ イタリア：アンゴラは、10月にトリノで企業連携の調整を目的とした、経済協力フォーラムを実施する予定 (4/18 SE)。
- ・ EU：EUは、アンゴラに2960万ユーロをアンゴラの社会支援基金の第4フェーズの活動に対して資金融資する予定 (4/17 Ah)。

エネルギー・水・通信

- ・ ドイツで開催された、第7回ドイツ・アフリカ電力フォーラムにおいて、アンゴラ電力・エネルギー大臣は、当国において主要電力システム (北部、中央部、南部) の統合、配電・変電能力の補強、インフラの修繕・建設が2016年までの優先すべきセクターである旨発言 (4/13 JA)。
- ・ 政府は2017年までに、1兆7000億クワンザを投資し、電力生産能力を5倍にする旨発言

(4/18 JA)。

- ・ 水・エネルギー大臣は、スンベ市において、Amboim, Quibala, Ebo, Ceta, Libolo, Cassongue 地域の住人に飲料水の配水つき 60 のプロジェクトを実施する旨表明 (4/21 JA)。
- ・ 水・エネルギー副大臣は、アンゴラの Cuvelai 流域は、ナミビアと連携して管理される予定と発表 (4/18 Ah)。
- ・ ベンゲラ州において、2015 年までに電力供給量を 200 メガワット増やす旨政府は発表 (4/29 JA)。
- ・ 水・エネルギー関連設備の企業 Elektra 社は、本年末に 3000 万ドルの利益を出す見込みで、2012 年より 4%増加 (4/12 EX)。
- ・ TV/インターネットプロバイダー会社である TV Cavo 社は、カママ市、ベンフィカ市、キラバキアシ市に新たなセンターを 2013 年中に設立する予定。利用者は約 30%増加する見込み (4/12 EX)。

インフラ・建設・物流

- ・ 民間運輸会社であるマコン (Macon) 社は、本年 2 月より開始予定であったルアンダーウィンドフック (ナミビア) の運行を延期し、5 月 25 日より実施 (4/4 SE)。
- ・ ルアンダ鉄道は、ブンゴ-ヴィアナ、ブンゴ-バイア区間でアンゴラ歴史上初の夜行列車を運行開始。また同鉄道は 1 日 1 万人の乗客数を記録 (4/11 SE)。
- ・ クアンド・クバンゴ州のジャンバ (Jamba) 滑走路は、本年修復工事予定 (4/8 Ah)。
- ・ アンゴラでは本年、4500km の道路が修繕される予定 (4/23 Ah)。

農業・漁業

- ・ ウアンボ州ロンゴンジョ (Longonjo) 市近隣にて、肥料工場が新たに開設 (4/4 SE)。
- ・ 約 100 の都市で農業市場を育てることを目的とした農牧畜生産プログラムの第一フェーズに対し、政府は約 60 億クワンザを供与 (4/15 Ah)。
- ・ クワンザ・スル州に位置するアンゴラ農業会社 (CADA) は、今年のコーヒー生産量を 2000 トン以上と予測。昨年より 400 トン増加 (4/18 SE)。
- ・ ナミベ州の経済開発計画 2013-2017 では、製塩が中心セクターとなる見込みである旨漁業大臣は発表 (4/16 Ah)。

その他の産業・当地企業

- ・ アンゴラの飲料メーカーである Refriango は、10 カ国に対する輸出を増加させる見込みであり、特にモザンビークの優先度を高くする (4/5 EX)。また Castel 社は、新しいビール商品 Cuca-mini を、数ヶ月以内に欧州市場へ輸出開始する予定 (4/5 EX)。
- ・ 3 月末、Refriango 社の飲料がエイズウィルスに感染しているといった噂が SMS 上で流布。同社は対策を講じ、様々なメディアは噂がありえないことを報じ、噂対策を支援 (4/6 sol)。
- ・ 建設財を販売する Bricomat 社は、昨年、約 2000 万ドルの取引を実施。本年はさらに 20% 増加する見通し (4/5 EX)。
- ・ ANIP は国内・国外の企業と 11 の投資契約を締結。商業・建設・サービス業にわたり、総

額 3 億 4230 万クワンザ (4/17 JA)。

- ・ カビンダ州で同州への投資, 連携促進, 交易量増加を目的とした国際フェアが 5 月 25-28 日に開催予定。国内・外から 250 の出展を見込む (4/20 JA)。
- ・ ヨーロッパの焼却工場は, アンゴラでのビジネス展開に関心 (4/27 JA)。
- ・ Grupo Cesar e Filhos はキランバキアシのゴルフショッピングセンターに 2100 万ドルを投資。2014 年第一四半期に完工予定 (4/12 EX)。